

ジュゴン・サンゴを守れ！土砂投入を許さない！
辺野古新基地建設断念を求める県民集会
(集会アピール)

国・防衛省は、8月17日から辺野古崎への埋め立て土砂の投入を沖縄県へ通知した。現在行われている埋め立て法による環境アセスを無視した数々の違法工事は、仲井真前知事が退任の4日前に承認した追加申請によるものである。

私たちは沖縄県民の民意を踏みにじり続け、違法工事を正当化し、強行してきた安倍政権と沖縄防衛局に対し強い怒りを持って抗議し続ける！

私たち沖縄県民は最後まで決してあきらめない！沖縄防衛局は今すぐ違法工事をやめろ！

私たちは豊かな生物多様性を誇る辺野古・大浦湾の美ら海に新たな基地を造らせない。翁長雄志沖縄県知事を支え、沖縄の地方自治と日本の民主主義を守るためこの不条理に全力で抗い続けることをここに宣言する。

- 一、土砂を投入して希少なサンゴ類、ジュゴンやウミガメが生息する海草藻場を破壊させない。
- 二、沖縄高専、久辺中学校・久辺小学校、久辺郵便局、集落等は、米国の安全基準（滑走路の周囲2286mの範囲の高さが標高55.7m）である高さ制限を超えている。児童生徒と住民の生命と財産をないがしろにさせない。
- 三、大浦湾側には活断層の疑いが、その付近の海底は超軟弱地盤である。辺野古新基地の立地条件を見直し、建設計画の白紙撤回を求める。

以上、

2018年7月7日（土）
辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議